白河地区保護司会

会報しらかわ

責任者
会長 金澤暎仁
編集者
協力組織部会
題字
金澤暎仁
会報アドレス
http://www.srkw.or.jp/~mimo/hogoshi/

創刊にあたって

任務の一層の理解を願って

白河地区保護司会
会長 金澤暎仁

この頃、諸々の事象に安全、安心と云うことが、マスコミに報道されることが多いように思われる。自然災害による安全、安心の問題は、比較的短期間に容認され易いが、人的災害による問題は、容認されるのに長期間を要するように思うのは、私の主観かもしれない。私達が関わっている保護司の仕事は、人的問題が主であると思われる。裁く者と裁かれる者の事実認識の乖離等々。また、福島自立更生センターが開所されてから、罪を犯した者のことが新聞、テレビ等で報道されるように成った。保護司は裁判の結果について論評は出来ないが、彼等の社会復帰には真摯に取り組んでいる。

最近は犯罪を未然に防止する社会運動に力を入れている。社会を明るくする運動の実施、薬物乱用防止街頭キャンペーンの実施、学校との連携等々。平成二十年六月、新たに更生保護法が施行され、更生保護制度の新たな展開と裁判員による裁判、また、福島自立更生センター開所により、出所後の保護観察があると云うことに、地域住民の関心が高まりつつあります。片方で守秘義務、もう一方で犯罪者の開示が要求されている。この現実が社会のありようです。

私達保護司は、自己の研鑽を積み、保護司間の連携を深め、広く地域住民に保護司の任務を理解していただくために会報を創刊することに致しました。現下の刑事施策の一端を担う保護司制度は地域住民に何を求められているのか。また、保護司の任務について地域の方々に理解していただく一手段として会報が有効に機能することを願っております。おわりに保護司各位の問題解決の一助に成ることを期待し創刊のことばと致します。

祝 受賞 おめでとうございます

平成二十三年十一月二十二日(火)、会津若松市で開催された第二十八回県更生保護大会に於いて、各種受賞者の披露や表彰が行われました。白河地区の受賞者は次の通りです。（敬称略）

▼叙勲(更生保護功労)瑞宝双光章
佐藤晃子

▼全国保護司連盟会長表彰
藤田光徳

▼東北地方更生保護委員会委員長表彰
齋藤隆司郎
氏家孝紀
吉田恵
松尾千鶴子

▼東北地方保護司連盟会長表彰
潮地龍勝
鈴木裕一

▼福島県知事感謝状
小椋栄一

▼福島保護観察所長表彰
内藤信
鈴木実光
新妻眞孝

▼福島県保護司会連合会会長表彰
円谷康夫
佐々木直信
伊藤正美
中間ヒロ子
弓野瑞弘

受賞者の言葉

「受賞に際し」

受賞者代表 藤田 光徳

今回、全国保護司連盟会長賞を受賞したわけでありますが、ある程度年数を経れば頂けるとは思っておりました。こう言ってしまうと身も蓋もありませんが、私は、この受賞制度が今の時代に合っているか疑問に思っています。保護司が名誉職のように見られた時代の名残のように思えてなりません。

私は、平成四年九月に任命されましたので十九年が過ぎたことになります。この間、バブルが弾け、低成長少子高齢社会が急速に進み、何より携帯電話に代表される生活の変化は、私達保護司のありようを大きく変えたと思っています。

今思うことは、受賞よりもやりがいに重きをおいた時代ではないでしょうか。

今年度の歩み

■理事会
4・8 新年度事業計画
4・26 総会への準備
12・15 事務報告、会報創刊に向けて

■総会 5・25
福島保護観察所統括保護観察官、白河市長、西白河地方町村会長、白河警察署長、白河地区更生保護女性部会長、白河地区保護司OB会長のご臨席をいただく。
・今年度の事業計画・予算案の決定、役員改選

■研修会
5・25 第一期定例研修会
8・25 第二期定例研修会
10・26 第三期定例研修会
11・29 矢吹支部研修会
12・15 第四期定例研修会
12・16 西郷支部研修会
1・30 第五期定例研修会
3・9 第六期定例研修会

■第28回県更生保護大会
11・29 会津若松市
参加者三十七名

退任者・新任者紹介（敬称略）

■退任
・大野正美
平成23年5月31日
・齋藤隆司郎
平成23年11月30日
永年に亘る更生保護活動へのご尽力とご指導ありがとうございました。

■新任
・関谷裕幸
平成23年6月1日
活躍を期待しております。よろしくお願いします。

編集後記

今年度も残り少なくなりました。一年の活動のまとめの時期でもあります。その一つとして、会報を創刊する運びとなりました。金澤会長の強い願いのもと、ここにその願いが実現できたこと、会員皆様の喜びでもあると思います。編集を担当しました協力組織部会にとりましても、安堵と喜びの心境であります。いろいろとアドバイスや提案を頂きました役員、部長、理事会の皆様にも感謝申し上げます。

終わりに、ご多忙中、玉稿をお寄せいただきました保護観察所長井坂様、OB会長内山様、その他たくさんの方々にお礼申し上げます。

《協力組織部会》

編集会議(11/24)

創刊に向けての打ち合わせ(11/4)